

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
せんたく遊び	小	グループ学習 高学年 シロクマペンギン (国語・算数)	

<ねらい>

- ・絵本の読み聞かせに注目し、せんたくをイメージする。
- ・せんたくの歌に合わせた身体表現や、せんたく遊びをする。
- ・せんたく遊びに興味をもち、自分から取り組もうとする。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

○絵本の読み聞かせ

- ・絵本『せんたくおばけ』作 左近蘭子 絵 島田コージ 出版：フレーベル館  
絵本の内容：せんたくおばけは洗濯が大好き。石鹸つけてごしごしごし。水でじゅぶじゅぶじゅぶ。きゅっきゅっきゅーと絞ったらきれいに広げてぱんぱんぱん！デジタル絵本で、擬態語に合わせて、絵が揺れたり、回ったりするようにした。
- ・絵本『ぐるぐるせんたく』作 矢野アケミ 出版：アリス館  
絵本の内容：「まあるいかたちに なに いれる？」という呼びかけの後に、汚れた服を脱いで、丸の中にボンと入れていく。くつした、ぼうし、シャツ、パンツと、どんどん脱いで入れていく。水と洗剤も入れて、丸の中に指をあてて、ぐるぐるぐるぐる～と回す。

○歌遊び 「♪せんたく」

- (1) あらって あらって あらって あらって あらって あらって ひとまわり  
(2) すすいで (3) しぼって (4) ほして

- ・歌に合わせて、1回目は教師と手をつないで身振り表現をし、2回目は全員で輪になって取り組んだ。

○せんたく遊び

- ・「今日はどれ洗う？」と尋ねられて、ズボンや靴下、タオルの中から自分の洗いたい物を選び、一人ずつ前に出て、歌に合わせて洗った。洗った後は、ロープに干して、洗濯ばさみで留めた。

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・絵本『せんたくおばけ』は、拡大し、擬態語を強調して読み聞かせを行い、それに合わせて、絵が揺れたり回ったりすることで、児童が注目していた。
- ・絵本『ぐるぐるせんたく』は、せんたく遊びをした後に読み聞かせをし、実際と同じように絵本の場面を回すことで、イメージしやすくなった。
- ・歌遊びで教師や友達とつながって身振り表現を楽しむことができた。
- ・せんたく遊びは、一人ずつ前に出て取り組み、透明の容器を用いることで、手の動きがわかりやすくなった。実際のせんたく遊びの活動に合わせて、教師が歌いかけすることで、せんたく遊びの活動に見通しをもちやすくなった。

